

持続可能な地域づくりにおけるインタープリテーションの役割 ～インタープリテーションによる地域への誇りの再生～

増田 直広（キープ協会／日本インタープリテーション協会／都留文科大学）

キーワード：持続可能な地域づくり、地域創生、インタープリテーション、環境教育、誇り

1. はじめに

高度経済成長期以降、日本の中山間地域および都市部には過疎化や人口集中に起因する様々な問題が発生している。それら諸問題の解決を図り、地域の持続可能性を高めていく取組みが持続可能な地域づくりや地域創生である。国や自治体、NPO、自然学校など多様な主体が取組みを行っているが、その中で期待されているのがインタープリテーションである。

2. 中山間地域における4つの空洞化

小田切（2009）は、中山間地域（農山漁村）における諸問題を整理すると、①人の空洞化（人口減少）、②土地の空洞化（土地の荒廃）、③むらの空洞化（村落機能の脆弱化）に収斂され、そこからさらに深層で本質的な④誇りの空洞化につながっていると述べている。上記は中山間地域における問題とされているが、一部は都市部にも見られており、特に本研究が取り上げる誇りの空洞化は、中山間地域・都市部問わず大きな問題になりつつあると言える。

上記はいずれも大きな問題であるが、逆に言えばこれらを解決することができれば、地域の再生や活性化のベースを作ることができるとも考えられる。そこで、本研究では上記問題のうち最も根源的な「誇りの空洞化」を取り上げ、インタープリテーションがどのように貢献し得るか考察していきたい。

3. 持続可能な地域づくりと地域創生

持続可能な地域づくりとは、環境教育やESDの要素を持った内発的な地域づくりと言え、エコミュージアム、エコツーリズム、グラウンドワーク、ジオパークなど海外から取り入れられた活動や地域の学校を拠点としたエコスクールや地元学への取組みを事例として挙げるができる。筆者は持続可能な地域づくりの要件として、①地域資源を活用した環境教育が行われていること、②生涯学習としての環境教育が行われていること、③協働を通じた環境教育が行われていること、掲げている。

また、阿部（2017）はESDによる地域創生に関する研究の中で、地域創生のこと「住民1人ひとりが地域の多様な資源とかわり地域との関係性を主体的に深めていくことで創り上げる、環境・経済・社会・文化のトータルな視点で持続可能かつ災害からの回復力（レジリエンス）が高い地域社会づくり」と論じている。

4. インタープリテーションによる地域への誇りの再生

持続可能な地域づくりや地域創成において重要なのは住民が地域への誇りを取り戻すことである。そのためには「地域の承

認」と「地域とのつながり」が必要であるが、いずれにもインタープリテーションが寄与できると考える。

(1)地域の承認

住民が自身の地域を認めることであり、地域住民自身の気づきによるものと、来訪者からもたらされるものがある。持続可能な地域づくりにインタープリテーションを適用する場合、まず地域資源の調査と把握をすることになる。それは、インタープリテーションが地域資源に基づく教育活動であるからである。この行為に住民が参画したり、調査の成果を学んだりできれば、地域の発見や再発見につながり、地域資源を通して自身の地域を認めていくことになる。また、住民がインタープリター役となり来訪者と接することになれば、来訪者の反応や感動を受け取ることでさらなる地域の発見が促される。

(2)地域とのつながり

地域を認めることができても、自分自身が地域とのつながりを実感できなくては誇りに思うことができないが、このつながり作りにおいてもインタープリテーションは役割を果たすことができる。そもそもインタープリテーションは地域資源と人（住民および来訪者）をつなげる教育活動であり、受け手に対して地域資源を意味づけしていく行為である。つまり、インタープリテーションを通して、住民は地域とのつながりを実感できるようになるのである。

5. おわりに

筆者は山梨県北杜市において観光コンシェルジュ育成やフットパス作りなどの持続可能な地域づくりにつながる活動に関わる機会があったが、その過程で多様な地域資源（自然・文化・人）と出会い、地域の新たな魅力に気づくことが多かった。同時に清里のみでなく、北杜市の他エリアや全体とのつながりを実感するようになった。この経験と今回のフォーラムでの意見交換を通して、さらに本研究を整理していきたい。

参考文献

- 1) 阿部治, 2017, 「地域をつくる人を育てるESD」(阿部治編, 『ESDの地域創生力』), 合同出版
- 2) 高橋正弘, 2014, 「地域づくりとESD」(日本環境教育学会編, 『環境教育とESD』), 東洋館出版社
- 3) 小田切徳美, 2009, 『農山村再生』, 岩波書店
- 4) 増田直広, 2002, 「持続可能な地域づくり」(坂本辰郎ほか編『新教育事典』), 勉誠出版
- 5) 津村俊充・増田直広・古瀬浩史・小林毅編, 2014年, 『インタープリター・トレーニング』, ナカニシヤ出版